

ドイツ民主共和国

その成立について(3)

総評ドイツ留學生 内田和夫
山田勝巳

それはこれから、その反ファシズム民主主義革命の具体的な進行とその成果を考察してみたいと思ふ。

可能性を得た。

一九四六年四月の社会主義統一党の成立を通じて、すべての労働者の団結のための基礎ができた。また労働者階級統一の実現は、反ファシズム民主主義革命の中に労働者階級の指導的役割を確立するものとして、反ファシズム民主主義革命の全面的な遂行を保障するものでした。

まず社共統一

ドイツファシズムと独逸資本の敗戦後の一九四五年に、ドイツの非ナチ化、非軍事化、およびドイツ経済の過度な集中の除去を義務づけた「ポツダム協定」により、ドイツ人民は大きな国際的援助と、平和維持のための国際法的基礎を得た。

敗戦後のドイツにおいては激しい階級闘争が展開された。すなわち反ファシズム民主勢力と、あくまでも自分たちの地位を維持せんとする独逸資本家、反動的諸勢力との闘争です。

一九四五年六月十一日のドイツ共産党(KPD)のデビューの中で、敗戦後のドイツにおける反ファシズム民主主義革命の任務が規定され、労働者階級の統一、反ファシズム民主主義の全勢力の結集基礎が作られました。

これはさらに、一九四六年四月のドイツ共産党と社会民主党(SPD)のドイツ社会主義統一党(SED)への統一という具体的な形で現れました。ドイツ共産党とドイツ社会民主党の統一は、ドイツ労働運動史上およびドイツ人民の歴史において一つの転換期を意味するものでした。

ドイツの大部分の地域において労働者階級は団結した勢力として現れ、その統一を通じて労働者階級の史的使命を達成するという

世界観の勝利

社会主義統一党の成立は革命的な原則のつとめて労働者階級の統一のために戦ったドイツの革命的労働者の数十年前にのぼる、ドイツ労働運動史上の苦しい戦いの成果でもありました。

社会主義統一党の成立はドイツにおける日よりも見主義に対するプロレタリアの革命的な世界観の歴史的な勝利であり、ドイツ労働運動史上においては「共産党宣言」の出現、ドイツの革命的労働組合運動の発生、そして、ドイツ共産党の成立以来のもっとも大きな成果です。

労働者階級統一の実現はドイツ国民の民主的な統一を実現するために、あるいはすべてのドイツに平和愛好的な民主的な制度を達成するために、もっとも重要な前提条件です。

革命の遂行へ

首尾一貫したマルクス主義政党として社会主義統一党はその活動を開始し、最初の党のプログラム



Flakenkreuzschmiederei in der Oibersstraße

ナチスのシンボルのこの逆マンジが、西独では今も現われる。

大地評ソフトボール大会

いよいよ11日開催へ
三池から3チームが参加

三池労組の三川チームが優勝しており、今年の大会での三川チームの取組を期待しよう。

青婦協卓球大会は四日に

例年開催してきている、大牟田

健保改悪許すな

地評、討論集会開催へ

大牟田地評は、安心して診療できる国民の健康保険の確立をめざすための討論集会を開催する。

討論集会には、地評として中央総評社会保険協議会の肥田治一郎さんを招き、極力加盟労組の積極的参加を呼びかけている。

開催日は五日午後六時から、場所は労働会館の二階。

医療保険の大改悪は、実質的に「抜本改悪」であり、独逸資本による合理化政策、受益者負担・高福祉負担を前提とした保険事業が健保の赤字を増加させた最大の原因である。自らの責任を大衆に転嫁することの大改悪改悪案は、絶対に許すことができない。

七、八年春闘の中で、五月国会に

曙・白鳩など総辞退不参加

いま全国的に保険医の総辞退運動が広がっている。その発展方向が注目されているが、労働者の命と健康の保持を目標に活動している大牟田地評病院と白鳩診療所(荒尾)などは、右の総辞退運動には参加せず、引き続きこれまで通り保険診療を続けていく。

お願い

組合員・家族の皆さん、本紙へご投稿をお願いします。本紙に受け付けられず、もともと組合員と家族の手でつくるべきものですから。

写真で水俣病を告発 職場写真家が自力で

九州電力労働組合の島分会の椎野実さん、ほか三人のアマチュアでつくっている「集団フォト・アイ」はこのほど福岡市の水上公園で水俣病を告発する写真展をひらき、市民の共感と声援をうけた。三年前から水俣病の取材にとりかかり、休日を利用して現地水俣にたびたび、患者や熊本医大の先生たちの協力を得たが、他はすべて自力。写真展の開催も自力で、展示場の管理も島分会四人が交代で管理。しかし、八日間八千人の参加者に強い感銘を与えた。(「今九電」から)

【KNA】

このため美しい空に、悪臭やダウダウ黒煙が流れ、天候と風向きによって病室に侵入し、抵抗の弱い重症児や呼吸器疾患の結核患者は病状にシッカルエルほどになっており、職員は親身な医療看護を妨害しています。宿舎の汚れた物が汚れて黒くなることもありますが、

組合の再々抗議で多少位置を移動し、消毒や悪臭排除は十分やるといった約束もさほどの効果はありませんでした。そこで一月二十日、静岡市衛生部長から施設に「重症病棟から約二百五十メートルの裏山に、完全無臭の市営焼却場を設立したいので認めてほしい」と要請してきました。その後、三月三日に再び電話で申し入れしてきました。

漆山支部は、これまでの経過でも市当局の保障を信頼できない。医療施設の近接地に焼却場を計画する市当局の無神経さを公害に連なる行為であり、医療と患者の健康を脅かす非常識なことである。として、

①現在の野天焼却場の撤去と
②漆山から山の新焼却場設置計画を撤回せよ。の請願署名を静岡市長に対しておこしました。

漆山支部も、市の申し入れを拒否しており、支部では、請願行動として職員をはじめ、地域の各政党、労組、新聞社などにも支援書をおくり、協力を呼びかけました。地元の朝日、毎日など各紙は支部長の写真入り談話も含めて、この運動をとりあげています。

美しい空はどこへ

東海でも公害との闘い

【全医労新聞から】

静岡市は、国立療養所漆山荘の裏山に数年前から野天ゴミ焼却場を設け、毎朝七時ごろから市内で集荷した不用品を焼却してしま

組織は

どうあるべきか?

原因は、いろいろあります。目安単位によるC級単位の問題。馬の最先の人の参の如く、追って追って追いつけぬ賃金を押しつけて、労働者を競争させて見ると

「選挙には力を入れるが、まっすぐ現場の事に力を入れてくれない」といふことは、お互い

「お互いに集会でできたことを現場に持ち帰る。俺はっから守ったっちゃ、バカシカ」

等々、執行部、委員、組長に対する不満、お互いの同志の不信感

四山指導部二分全新聞、職場の闘いNO.10から

組合員・主婦のみなさん、どうして意見を寄せて下さる。